

ジオスペース館だより

★ 今月の星もよう ★

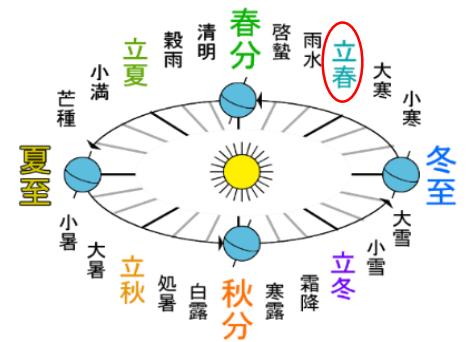
1年のうちで最も寒いこの季節、2月中旬の夜8時頃、南の空を見上げると冬の星座たちが勢ぞろいしています。冬の夜空は明るい星がきらめき、1等星を結んでできる有名な形が2つあります。1つは、ベテルギウス（オリオン座）・シリウス（おおいぬ座）・プロキオン（こいぬ座）の3つの星を結んだ《冬のダイヤモンド》。もう1つは、シリウスから時計回りに、プロキオン・ポルックス（ふたご座）・カペラ（ぎょしゃ座）・アルデバラン（おうし座）・リゲル（オリオン座）の6つの星を結んだ六角形の《冬のダイヤモンド》です。冬のダイヤモンドのベテルギウスが冬のダイヤモンドの中心に赤く輝きます。これらの星は街の中でも見えるので、暖かい服装をして探してみてください。



オリオン座は、全天で21個ある1等星のうち、ベテルギウスとリゲルの2つの1等星を持ち、明るい星が多く冬の空で最もよく目立つ星座です。また、オリオンの三つ星の下には「M42・オリオン大星雲」というガス星雲があり、肉眼でもぼんやりと確認できます。この場所は星が誕生する場所として知られていて、生まれたばかりの若い星がたくさんあります。

★ 二十四節気・2月4日は《立春》

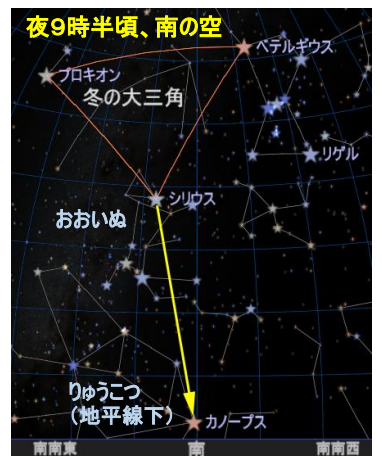
1年を24等分し、季節を表す二十四節気。2月上旬の節気は《立春》と呼ばれ、毎年2月4日頃になります。《立春》とは、春が立つ（春が始まる）という意味です。ちなみに、豆まきや恵方巻きなど行事でおなじみの節分は、立春の前日です。実際には最も寒い時期ですが、梅の花が咲き始めるなど、かすかに春の気配が感じられる頃です。



★ 空の低いところに注目！（月・木星、カノープス）

日の入り後1時間ほどの空が暗くなった頃、西の空の低い位置に明るい木星が見えて、3日には、新月を過ぎたばかりのとても細い月が木星に接近します。1時間もすると月も木星も沈んでしまうので、南西から西の空が開けたところで観察しましょう。

りゅうこつ座のカノープスは、おおいぬ座のシリウスに次いで、全天で2番目に明るい星です。日本では南中の高度が低く、見つけにくい星ですが、夜が更ける前に南中する2月はカノープスを見つけるチャンスです。目印は冬のダイヤモンドのおおいぬ座のシリウスの下の方、やや右。2月1日の南中時刻は夜9時半頃で、1日に4分ずつ早くなります。南の空がよく開けた場所で、地平線近くに現れるカノープスを探してみましょう。



星図はステラナビゲーター11を使用して作成

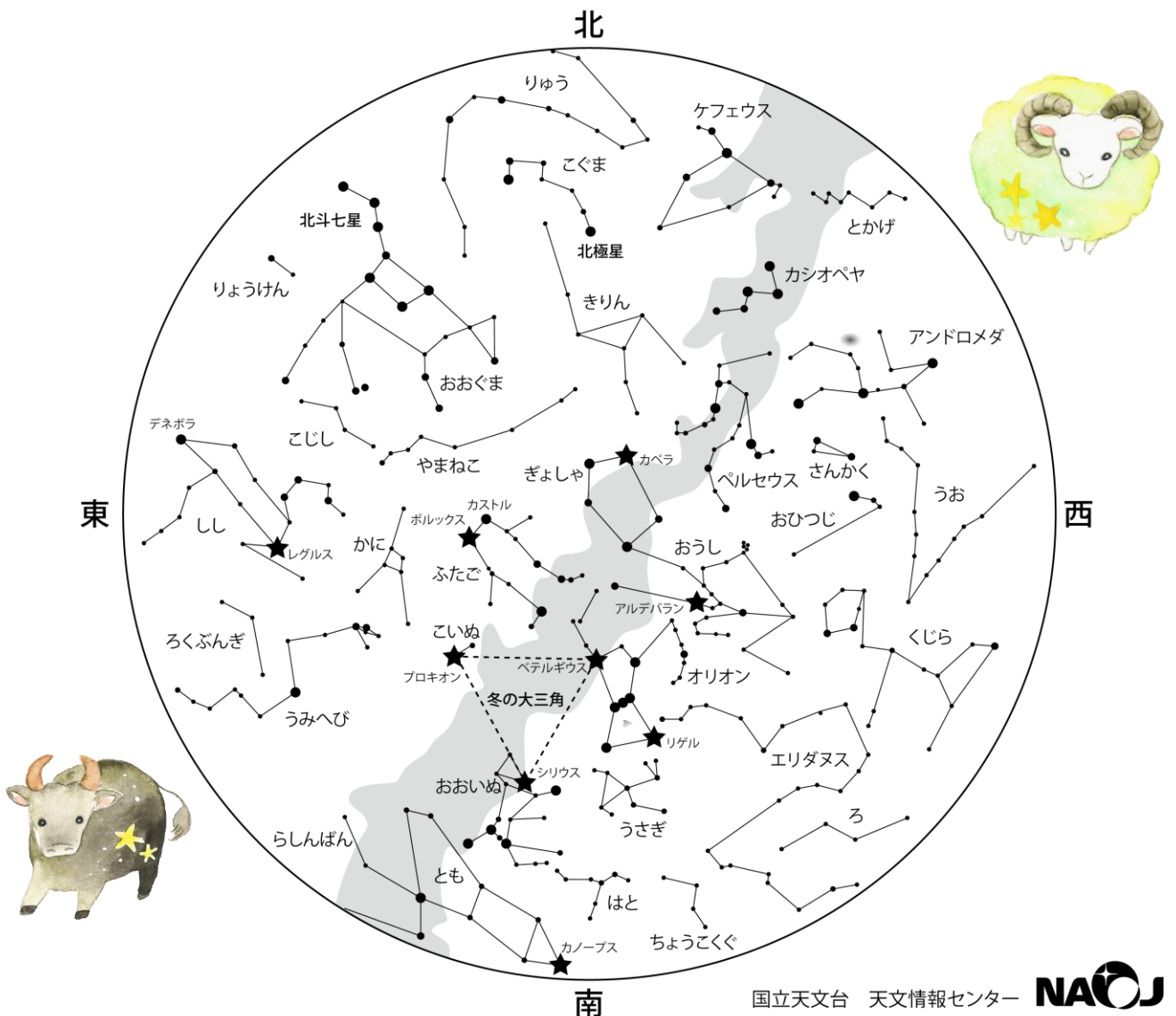
★ 2月のプラネタリウムの内容につきましては、別刷りの「投影案内」をご覧ください ★

★ プラネタリウムのお休み 2/7(月)、14(月)～16(水)、18(金)、21(月)、24(木)、28(月)

2/27(日)は、星空コンサートのため投影はありません。

★ 新型コロナウイルス感染症対策で、入場定員を減らして投影しています。

2月上旬午後9時頃の星空



★ 2月上旬の主な天文現象

1日(火)	● 新月	5日(土)	土星が昏
3日(木)	● 節分、 細い月と木星が並ぶ	6日(日)	うお座 μ (4.8等) の食
4日(金)	● 立春	8日(火)	● 上弦
		13日(日)	金星が最大光度 (-4.9等)

★ 国際宇宙ステーション(豊川での主なデータ 2/1~15) ※下記時刻は、予想値です

◇	2月 4日(金)	[見やすさ ○]	17:50	北北西	~	17:55	東
◇	2月 5日(土)	[見やすさ ◎]	18:39	北西	~	18:44	南東
◇	2月 6日(日)	[見やすさ ◎]	17:51	北西	~	17:57	東南東
◇	2月 8日(火)	[見やすさ ◎]	17:51	西北西	~	17:57	南南東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。